Souzou 2019
imaginative creative clatter

する
未来
展

開催概要

『Souzouする未来』展

現在、習志野市は大型マンションが増え、都内や地方からの住人の移住により人口が増加している。
それに伴い、文化的な教育や知性が求められいる。現在の習志野市には美術館やギャラリーが無く、
文化的な活動は音楽が中心となっている事から、芸術的な活動の視野を広げる必要がある。
習志野市には、多くの大学（東邦大学・日本大学・千葉工業大学）がある事から学生も多く住んでいる。
学生が学びの場として通う街を、もっと文化的な街に変えていきたい。
アートを多く展示発表する機会が増えることで、住民のアートに対する価値観や意識が高まる。
多くの芸術家・音楽家が住むこの街に文化の風をさらに吹かせることが、この展覧会の趣旨であり目的である。

展覧会のテーマ

今回の展覧会の主なテーマとなる『未来』
「未来」は子供でも解りやすいテーマであり、世界中のメディアでも「未来」をテーマに作品は多く作られている。
私たちにとって未来とはいかなるものか。
(そうぞう/Souzou)という言葉には、（想像imaginative・創造creative・騒々clatter）いろいろな意味がある。
あえて言葉に一つの意味を持たせず、Souzouとし、言葉が持つ意味を広げていく。
Souzouする『未来』を表現することは、これからの人々の暮らしに繋がっていく。
未来に広がる新しい文化、景色、街並み、色々な角度から未来を表現することで、新しい未来の提示、提案ができる。
「未来」とはポジティブなイメージが強い、だが現在進行形である環境破壊、温暖化などのネガティブな要素も
加わっている。私たちにとって「未来」とは何なのか、アーティストにおいて未来をSouzouする事、
作品として制作する事で未来をより深く考えるきっかけとなり、新しい時代への興味や好奇心を高める事ができ、
鑑賞者も作品を通して「未来」をSouzouするきっかけとなるのだ。